

日本バレーボール学会 2024年度 第1回バレーボールセミナー報告

日本バレーボール学会主催 2024年度 第1回バレーボールセミナー

グラスルーツの現場から トップにつながる育成と 指導のエッセンス

2025 **1/15** WED
19:00 - 20:30

参加無料
オンライン開催



パネリスト
FIVBコーチII / JSPOコーチ4
雑賀 雄太氏



ファシリテーター
FIVBコーチI / JSPOコーチ4
杉山 哲平氏



期日：2025年1月15日（水）19：00～20：30

会場：Zoom ウェビナー（オンライン）

テーマ：グラスルーツの現場からトップにつながる育成と指導のエッセンス

登壇者：雑賀 雄太氏（FIVB コーチコースレベルII / 日本スポーツ協会コーチ4）

ファシリテーター：杉山 哲平氏（FIVB コーチコースレベルI / 日本スポーツ協会コーチ4）

司会：沼田 薫樹（大阪体育大学）

2024年度第1回バレーボールセミナーは、1月15日（水）に開催され、講師1名とファシリテーター1名が登壇し、事前申込者は140名に達した（事前申込者には動画アーカイブ視聴が可能）。当日、最大68名の参加者がリアルタイムの参加となった。

2024年のパリ・オリンピックにおける日本代表の活躍やSVリーグの発足を契機に、日本バレーボール界のさらなる発展を目指し、トップカテゴリでの革新を育成年代にも広げることの重要性が強調されています。本セミナーでは、育成年代やグラスルーツ分野で豊富な実績を持つ雑賀雄太氏を講師に迎え、日本のバレーボールコーチが目指すべき理想のコーチング像について議論が行われました。

冒頭で雑賀氏は、「育成年代のコーチはどうあるべきか」というテーマについて、“「バレーボールが大好きな人」を育成できるコーチが理想である”と述べ、コーチングの定義や役割を解説した。その後、トレーニングデザインの考え方を軸に、「なぜ」や「目的志向」を重視した具体的な実践例を紹介いただいた。また、シンガポールをはじめとする海外でのクラブ事情にも触れ、各国の取り組みについても共有いただいた。

最後のセッションでは、ファシリテーターの杉山先生が進行を務め、参加者とのQ&Aを通じて、グラスルーツにおけるコーチングやシンガポールのクラブ事情などについて活発なディスカッションが展開された。

最後に、吉田副会長より閉会の挨拶と2月開催予定のバレーボール学会記念大会について案内でバレーボールセミナーが幕を閉じた。

YouTube アーカイブ <https://youtu.be/vWMkaCvtQGw>

文責：沼田薫樹（大阪体育大学）